

平成24年度決算に係る

定期監査調書

平成25年6月

日野総合事務所福祉保健局

組織改正に伴い業務を引き継いだ機関

西部総合事務所日野振興センター

西部総合事務所福祉保健局

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	3 頁
7	収入証紙取扱額調べ	9 頁
8	収入事務処理状況調べ	9 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	10 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	10 頁
11	不納欠損額調べ	10 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	11 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	12 頁
14	財産に関する調べ	13 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	13 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	13 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁

22	介護保険・介護サービス事業の状況	14頁
23	障害福祉サービス事業の状況	14頁
24	福祉等の相談状況	14頁
25	障害者福祉の状況	14頁
26	児童福祉の状況	14頁
27	母子及び寡婦福祉業務の状況	15頁
28	生活保護業務	15頁
29	社会福祉法人等に対する指導監査の状況	15頁
30	健康に関する事業の実施状況	15頁
31	医療施設等の検査等の状況	16頁
32	感染症等に関する業務の状況	16頁
33	原爆被爆者健康手帳交付者及び手当て受給者状況	16頁
34	難病患者の状況	16頁
35	身体障害者更生相談所に係る定期相談等の実施状況	16頁
36	身体障害者更生相談所に係る相談内容及び判定の状況	16頁
37	身体障害者更生相談所に係る障害程度別の相談状況	16頁
38	知的障害者厚生相談所に係る相談内容及び判定の状況	16頁
39	食品衛生施設の監視の状況	17頁
40	狂犬病予防等の状況	17頁
41	環境衛生監視等の状況	17頁
42	鳥獣保護等の状況	17頁
43	農薬、肥料販売、生産施設監視の状況	18頁
44	JAS 法に基づく食品表示適正化指導の状況	18頁
45	住宅関連許認可等の処理状況の調べ	18頁
46	県営住宅入居状況等調べ	18頁
47	県営住宅貸付料収入内訳調べ	18頁
○	意見、要望等	18頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
福祉保健課	保健衛生係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症に関すること ・ 認知症・高齢者支援に関すること ・ 精神保健福祉に関すること ・ 動物の愛護及び管理に関すること ・ 自然環境の保護に関すること
	支援担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町村福祉事務所支援に関すること ・ その他社会福祉に関すること

4 職員の定員、現員調べ

（平成 25 年 6 月 1 日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	24. 4. 1 現 在	当 該 年 度	24. 4. 1 現 在	当 該 年 度	24. 4. 1 現 在	当 該 年 度	24. 4. 1 現 在	
定 員	/	2	/	3	/	0	/	5	
現 員	()	() 3	()	() 2	()	() 0	()	() 5	
過不足(Δ)	/	1	/	Δ 1	/	0	/	0	
臨 時 職 員	/	0	/	0	/	0	/	0	
非 常 勤 職 員	/	0	/	1	/	0	/	1	自然保護監視員

5 役付職員の調べ

（平成 25 年 6 月 1 日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
西部総合事務所日野振興センター 日野振興局局长	澤 田 雅 広	年 月 0 2	
西部総合事務所日野振興センター 日野振興局 副 局 長	埴 田 淳 一	0 2	
西部総合事務所日野振興センター 日野振興局 地 域 振 興 課 参 事	浅 田 正 人	0 2	
西部総合事務所日野振興センター 日野振興局 地 域 振 興 課 参 事	八 幡 徳 弘	0 2	

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
西部総合事務所日野振興センター 日野振興局地域振興課課長補佐	高橋 達也	年 0	月 2	
西部総合事務所日野振興センター 日野振興局地域振興課課長補佐	山本 孝之	0	2	
西部総合事務所日野振興センター 日野振興局地域振興課 中山間地域振興リーダー	林原 稔	0	2	
西部総合事務所日野振興センター 日野振興局地域振興課課長補佐	三木 浩司	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 局長	福田 健	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 参事監兼副局長	大城 陽子	5	2	通算6年8月
西部総合事務所福祉保健局 副局長兼福祉企画課長	古都 憲孝	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 福祉企画課課長補佐	大森 俊成	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 福祉支援課課長	草刈 康明	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 福祉支援課課長	林 圭之助	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 障がい者支課課長	岡崎 雄二	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 障がい者支援課課長補佐	野口 哲也	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 健康支援課課長	植木 芳美	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 健康支援課課長補佐	松本 薫	0	2	
西部総合事務所福祉保健局 健康支援課課長補佐	高橋 千晶	3	2	
西部総合事務所福祉保健局 健康支援課課長補佐	坂口 千代	0	2	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>町村福祉事務所 設置への支援</p> <p>決算（見込）額 0円</p> <p>将来ビジョン Vお互いを認め、尊重して、支え合う (3) 高齢の方や、障がいのある方、社会的に支えを必要とされる方が地域・社会の中で「質の高い生活」を送る</p> <p>政策項目 該当なし</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 ①背景・経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度以降、各町村に福祉事務所が設置され、県福祉事務所から生活保護業務が移管されていることに伴い、町村福祉事務所に対する支援を行っている。 <p>【設置状況】</p> <p>H22年度設置：日南町、江府町、日吉津村 H23年度設置：南部町、伯耆町 H24年度設置：日野町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、西部福祉保健局に支援担当者（西伯郡担当）が配置され、日野福祉保健局では保護係長が日野郡内の支援を行っていた。今年度から日野福祉保健局に1名の支援担当者が配置となり、福祉事務所設置後1年目の日野町を主として支援し、併せて西伯郡・日野郡の町村福祉事務所の生活保護業務における支援を行っている。 <p>②支援の目的</p> <p>生活保護業務が町村福祉事務所へ移管後も安定して実施されるよう、住民に身近な町村で一元的な福祉サービスの提供を担う町村福祉事務所を設置する町村を支援すること。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援担当者が町村に出向き、相談援助業務に関する助言指導、生活保護費認定業務に関する確認・助言指導等を行っている。 ・町村生活保護担当職員の技術向上や組織的経験蓄積を目的として、町村福祉事務所・西部福祉事務所と合同で研修や情報交換を開催した。 <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活保護研究会（月1回）：実施方法確認や事例検討等 ○ケースワーカー勉強会（年4回）：講義や事例検討等 ○査察指導員連絡会（年4回）：実施方法等の協議や情報交換等 <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>今年度から査察指導員連絡会を設け、ケースワーカー経験がない査察指導員の研修の場として、また実施機関同士で情報交換や意見交換を行うことによる近隣町村における生活保護の実施水準の均衡を図った。</p> <p>ウ 成果</p> <p>各町村福祉事務所の状況に応じた支援を行うことで、町村福祉事務所の自立運営に必要な経験の蓄積に寄与できた。また、研究会や連絡会等の継続により、町村福祉事務所の自立運営に不可欠な福祉事務所同士の協力体制が構築できつつある。</p> <p>エ 課題</p> <p>各町村福祉事務所とも事例が多くなく、自立運営のための経験蓄積がむずかしい現状がある。そのため、円滑な自立運営のためには、平成25年度以降も県による技術的な支援の継続（西部福祉保健局に支援担当1名配置）が必要である。</p>	

事業名	概要	要
<p>高齢者の地域支援事業</p> <p>決算（見込）額 0円</p> <p>将来ビジョン Vお互いを認め、尊重して、支え合う (3) 高齢の方や、障がいのある方、社会的に支えを必要とされる方が地域・社会の中で「質の高い生活」を送る</p> <p>政策項目 Ⅲ暮らしに安心 「支え愛」まちづくりの展開</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率の高い日野郡では介護予防、認知症対策等の課題がある。 ・高齢者等とその家族が住み慣れた地域で、安心して生き生きとした生活を継続するために「医療」と「介護」の切れ目のない連携体制の構築を図る必要があり、そのために地域リハビリテーションを推進していく。 <p>※地域リハビリテーションとは、障がいのある人々や高齢者およびその家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に、生き生きとした生活が送れるよう、医療や保健、福祉及び生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべてを言う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療・介護連携情報提供書作成ワーキングの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度から運用を開始している「日野郡医療介護連携情報提供書」^{※1}（以下、「提供書」）を見直し、提供書の修正を行った。 ○地域リハビリテーション連絡協議会^{※2}の実施 <ul style="list-style-type: none"> 【第1回内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・講話「医療保険の改正点について」、提供書の改正について協議、情報交換等 【第2回内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・提供書運用報告、事例報告、活動報告、次年度の活動方針の協議、情報交換等 【注釈】 <ul style="list-style-type: none"> ※1 日野郡医療介護連携情報提供書：郡内の病院と老人保健施設、介護支援専門員等の双方で患者の入院時あるいは退院時に支援をスムーズにつなげるように患者情報の交換を行う共通様式。記載内容は日常生活動作、介護保険サービスの利用状況等。 ※2 地域リハビリテーション連絡協議会：構成機関は、日野病院、日南病院、介護老人保健施設おしどり荘、あやめ、郡内地域包括支援センター、日野総合事務所福祉保健局 ○認知症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・江府町認知症対策事業への支援 今年度から町と鳥大附属病院が共同で、モデル地区での認知症対策に取り組んでおり、日野・西部福祉保健局も認知症検査、座談会等に参加し、事業に協力している。 ・「家族の集い」に参加し、郡内の当事者の状況把握を行った。 <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域リハビリテーション推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・修正した「提供書」の周知を図った。日野病院を中心にした協議会メンバーで、提供書を活用していない事業所に個別に活用を依頼した。郡内の主な機関では提供書が活用され、定着してきている。 ○認知症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・江府町の新規事業と一緒に実施し、モデル地区での認知症予防と認知症の方を支える地域づくりに向けての取り組みを開始した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域リハビリテーション 	

事業名	概要	要
	<ul style="list-style-type: none"> ・「提供書」の運用状況（H24.1.1～12.31） 地域から病院への情報提供：169件。病院から地域への提供：254件。 郡内の居宅介護支援事業所と病院間の運用は、ほぼできている。 今年度新たに、特別養護老人ホーム（1ヶ所）での運用が開始され、 着実に提供書が定着してきている。 ・提供書を運用することで「医療」、「地域」で一環した在宅⇒入院⇒ 在宅の情報を共有でき、患者の支援に役立っている。 ・地域リハビリテーション連絡協議会では、講話、情報交換を行い、協 議会メンバーのスキルアップを目指した。加えて、郡内の医療機関、 介護サービス事業所、地域包括支援センター等の関係機関が一同に会 し、郡内の現状や課題を共有・検討する場となっている。 <p>○認知症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江府町のモデル地区での認知症対策の事業を開始し、次年度からの各 地区で行う認知症予防、見守り支援への取り組みの足がかりとなった。 <p>エ 課題</p> <p>○地域リハビリテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「提供書」に関しては、認知症グループホーム等リハビリを行わないケース では運用ができていない。将来的には、リハビリを伴わないケースでも郡 内の病院と介護サービス事業所間で情報のやりとりが円滑に行われ るよう管理を継続しながら、より一層の定着を図る必要がある。 <p>○認知症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯が多い地域であり、地域での見守り、支え合う体制を構築 することが重要である。 ・江府町のモデル地区での取り組みを通じて、各地区の特色に応じた認 知症を支える地域づくりを推進していく必要がある。 福祉保健局も、各地区の具体的な取組みが実施され、またその活動が 他の地区にも波及するよう支援を継続していく。 ・今年度、江府町で「<u>認知症疾患医療センター</u>」^{※3}と連携して事例検討 会を実施する予定だったが、未実施となってしまった。 専門医への受診の遅れ等の課題があり、引き続き、町内の医療機関、 介護サービス事業所などを対象にした事例検討会について「認知症疾 患医療センター」と協力しながら実施に向けて働きかけていく。 <p>【注釈】</p> <p>※3 認知症疾患医療センター： 県で圏域ごとに指定している認知症疾患に関 する専門相談窓口・関係者研修等を行なう医療機関。西部圏域では 西伯 病院と養和病院が指定されており、日野郡の担当は西伯病院である。</p>	

事業名	概要	要																																																								
<p>発達支援体制事業への取り組み</p> <p>決算（見込）額 37千円 （財源内訳） 一般財源 37千円</p> <p>将来ビジョン Vお互いを認め、尊重して、支え合う (3) 高齢の方や、障がいのある方、社会的に支えを必要とされる方が地域・社会の中で「質の高い生活」を送る</p> <p>VI鳥取県を支えるひとを育む (1) 地域みんなで応援する健やか子育て</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 従来、県で実施していた乳幼児すこやか発達相談指導事業を日野地区連携・共同協議会※¹が実施主体となり「ひのぐんぐん発達相談支援事業」として実施している。町が発達支援も含め一貫した母子保健事業を展開できるようにすると共に、保育園等関係機関の連携を強化し、日野郡における発達の気になる乳幼児や保護者に対する支援体制の整備を図る。</p> <p>【注釈】※1 日野地区連携・共同協議会：日野郡3町と県が連携・共同して共通の課題に取り組み運営を実施する地方自治法上の法定協議会。共同で取り組む事業の中の一つに発達支援の事業が位置づけられている。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 ○ 個別相談（年間7回）・発達集団教室（個別相談に併せて年間4回） スタッフ：脳神経小児科医師、療育機関保育士、児童心理司、保健所・町保健師 内 容：個別相談・親子で参加する遊びの集団教室 平成24年度発達相談件数（単位：件）</p> <table border="1" data-bbox="435 969 1441 1182"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">回・日に</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> <th>4回目</th> <th>5回目</th> <th>6回目</th> <th>7回目</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>5月9日</th> <th>7月11日</th> <th>9月12日</th> <th>11月14日</th> <th>12月12日</th> <th>2月13日</th> <th>3月13日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団教室</td> <td></td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個別相談</td> <td>医師</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>ペアレントメンター</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>発達検査</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>○保護者交流会 開催日：平成24年10月10日（水） スタッフ：保健所・町保健師（その他講師にペアレントメンター※²、読書アドバイザー） 内 容：「伝え上手になろう」のテーマでミニ講話や、茶話会・情報交換等を実施した。 参加者：保護者3人</p> <p>【注釈】※2 発達障がいあるいはその特徴を持った子どもの子育てで悩んでいる保護者に対して、同じ発達障がいの子どもの育てている保護者が相談相手となり、同じ親の視点で悩みを共有したり経験を交えて子どもへの関わり方などの助言をする。県で22年度に養成事業が実施され23年度から事務局「ペアレントメンター鳥取」のもと現在約50人が登録し活動している。</p> <p>○ 発達支援関係者研修会 開催日：平成24年11月27日（火） 参加者：町の保健師、保育士等 12人参加 内 容：郡内の関係職員に対して、乳幼児の発達に関する行動への気づきとそれに対する手だてを考える内容で臨床心理士を講師に研修会と事例検討を実施した。</p>	項目	回・日に	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	合計	5月9日	7月11日	9月12日	11月14日	12月12日	2月13日	3月13日	集団教室		5	4	6	5				20	個別相談	医師	2	5	1	3	2	2	4	19	ペアレントメンター	1		2	2		1		6	発達検査		1	1	0	1	1	0	2	6	
項目	回・日に			1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目		合計																																														
		5月9日	7月11日	9月12日	11月14日	12月12日	2月13日	3月13日																																																		
集団教室		5	4	6	5				20																																																	
個別相談	医師	2	5	1	3	2	2	4	19																																																	
	ペアレントメンター	1		2	2		1		6																																																	
発達検査		1	1	0	1	1	0	2	6																																																	

事業名	概要
	<p>○ 発達支援担当者会 参加者：保健所・町の発達支援担当保健師 実施回数：4回 内容：事業企画や実施計画の作成をし、チームとして取り組んだ。</p> <p>○ 担当課長会：事業実施・計画の承認、次年度方針の決定等</p> <p>○ 乳幼児健診行動アンケートの実施 今年度から、各町の乳幼児健診で保護者に対し行動アンケートを実施し、そこから支援の必要な親子を見つけ、各町の保育園と保健部門が協力して継続的な支援を実施する方法をスタートした。</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・ 町保健師にも各事業を担当制とし、一層主体的に取組めるようにし、保健所は全体の総合調整としての役割を担った。 ・ 集団指導の中で実施する保護者支援の充実をめざし、保護者ミニ交流会が集中してできるように子どもの保育要員の保育士をスタッフに加えた。また、より保護者の立場でアドバイスできるようにペアレントメンターを相談対応者として活用した。 ・ 乳幼児健診の行動アンケートを開始し、3町の実施状況を評価した。 ・ 乳幼児健診の時点だけでなく、保健師と保育士で子どもの発達を共有して見ていけるしくみづくりについて担当者会・勉強会の中で研究・検討した。</p> <p>ウ 成果 ・ 町保健師に担当制をつけたことによって、より主体的な関わりが出来、より住民のニーズに合った内容になった。 ・ 集団教室の保護者ミニ交流会が集中してできる体制になった。 ・ ペアレントメンターを活用したことは、保護者の思いに寄り添った具体的なアドバイスができ、保護者支援の強化につながった。 ・ 保護者交流会は、人数は少ないが、参加者には大変好評であり、親同士の子育ての悩みの共有や、育児の振り返りや、親子関係・家族関係を見つめなおす貴重な機会となっておりこのかたちを継続したい。 ・ 乳幼児健診の行動アンケートについては、医師診察以外でも、行動面での保護者の不安や子どもの特性をチェックでき、フォローにつながった事例もあった。また、保健分野と保育分野、また保護者の間の意識をすり合わせるのに有効であり、協力した支援につながりつつある。</p> <p>エ 課題 ・ 来年度に向けても、3町とも協議会事業として継続していきたい意向であり、それについては今までどおりの県の支援を求めている。事業の継続実施に向けて、西部総合事務所福祉保健局への引継ぎをスムーズに実施していくことが必要である。 ・ 今年度、発達支援関係者研修会で、事例検討を実施して支援の手立てを考えるとところまで実施したが、各町の支援体制についてはまだばらつきがあり、今後も共に体制を整備していくことが必要である。 ・ 乳幼児健診での行動アンケートは来年度も引き続き取り組みを継続し支援につないでいく。</p>

事業名	概要																																			
<p>環境教育推進事業</p> <p>決算（見込）額 22千円</p> <p>（財源内訳） 一般財源 22千円</p> <p>○ 将来ビジョン Ⅲ 鳥取県の豊かな恵み・生活を守り、次代へつなぐ （1）豊かな自然・環境を守り、育て、次代につなげる～「自然・環境バトンリレープロジェクト」</p> <p>○ 政策項目 Ⅴ 彩り、輝きー鳥取の誇りとっとり環境イニシアティブ</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 地球温暖化、廃棄物問題、身近な自然・緑地の減少等、環境問題を解決するために次世代を担う子ども達を中心として、環境を大切にする心と行動力の育成を図ることを目的とする。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <p>① 環境教育 日野町子ども教室※の中に、月3回程度福祉保健局の職員が入り、環境教育を実施している。</p> <p>【実施状況】</p> <table border="1" data-bbox="406 595 1473 1003"> <thead> <tr> <th colspan="2">摘要</th> <th>実施回数（回）</th> <th>参加実人数（人）</th> <th>参加延人数（人）</th> <th>実施事例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">日野町子ども教室（日野町）</td> <td>根雨</td> <td>8</td> <td>17</td> <td>113</td> <td>葉っぱのお面作り、クリスマス・リース作り等</td> </tr> <tr> <td>黒坂</td> <td>17</td> <td>8</td> <td>124</td> <td>黒坂地域の自然体験、クリスマスツリー作り等</td> </tr> <tr> <td colspan="2">夏休み（日野町）</td> <td>2</td> <td>20</td> <td>—</td> <td>ストーン・アート</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活体験合宿（日野町）</td> <td>1</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>川の自然観察会</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自然体験教室（江府町）</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>—</td> <td>木工工作等</td> </tr> </tbody> </table> <p>② ホームページ ”自然の宝箱「自然保護監視員だより」”により情報発信を行った。</p> <p>③ 広報活動 当局が環境教育を実施していることを知らない教育関係者が多く、昨年度に引き続き環境教育の広報活動を行うため、日野郡内の小・中学校が参加する校長会に出向き、当局では環境教育の実施に力を入れていることを説明した。</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 根雨小学校及び黒坂小学校の各放課後子ども教室において、月1回～2回の割合で当局の職員を講師とした環境教育を実施している。それによって子ども達には地元の自然と触れ合う機会を設けられるようになり、かつ環境を考えるきっかけを与えられるようになった。</p> <p>エ 課題 環境教育を推進する指導者が不足しているため、子ども教室を主催している町教育委員会の職員（安全管理員）等を対象として、環境教育の指導者を育成していく必要がある。</p> <p>【注釈】 ※日野町子ども教室 概要：子どもの安全・安心な居場所づくりのため、放課後に小学校等の教室を活用し、地域住民の参画を得て、子どもたちとともに勉強やゲーム等の取り組みを実施する。 主催：日野町教育委員会 対象者：スクールバスを利用する児童や早い時間に帰宅しても保護者が不在の児童のうちの希望者</p>	摘要		実施回数（回）	参加実人数（人）	参加延人数（人）	実施事例	日野町子ども教室（日野町）	根雨	8	17	113	葉っぱのお面作り、クリスマス・リース作り等	黒坂	17	8	124	黒坂地域の自然体験、クリスマスツリー作り等	夏休み（日野町）		2	20	—	ストーン・アート	生活体験合宿（日野町）		1	14	—	川の自然観察会	自然体験教室（江府町）		1	9	—	木工工作等
摘要		実施回数（回）	参加実人数（人）	参加延人数（人）	実施事例																															
日野町子ども教室（日野町）	根雨	8	17	113	葉っぱのお面作り、クリスマス・リース作り等																															
	黒坂	17	8	124	黒坂地域の自然体験、クリスマスツリー作り等																															
夏休み（日野町）		2	20	—	ストーン・アート																															
生活体験合宿（日野町）		1	14	—	川の自然観察会																															
自然体験教室（江府町）		1	9	—	木工工作等																															

7 収入証紙取扱額調べ

(平成25年1月31日現在)

目	収入科目		件数	単価 (円)	証紙よりつけ額 (円)	備考
	節	細節				
衛生手数料	衛生手数料	動物愛護管理手数料(91日以上)	2	2,000	4,000	
		動物愛護管理手数料(90日以内)	0	400	0	
		計(節)	2		4,000	
		目計	2		4,000	
		合計	2		4,000	

8 収入事務処理状況調べ

- (1) 分担金及び負担金 該当なし
- (2) 使用料 該当なし
- (3) 手数料 該当なし
- (4) 財源収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成25年1月31日現在)

(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納 欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入	雑入	生活保護費返還金	13	149,230	50,000	0	99,230	生活保護法(第63条)	H25.2.1収納(5,000円)
		生活保護費徴収金	1	119,200	55,000	0	64,200	生活保護法(第78条)	
		計(節)	14	268,430	0	0	163,430		
		目計	14	268,430	0	0	163,430		
		合計	14	268,430	105,000	0	163,430		

(6) 現金の取扱い状況

- ア 現金の取扱い状況 該当なし
- イ つり銭の状況 該当なし

9 収入未済額調べ

(平成25年1月31日現在)
(単位:円)

区分 収入科目 目	節 目	節 細節	過年度分			現年度分				収入未済額		未収理由		
			前年度以前の繰越額	左のうちの収入済額	不納欠損額	収入未済額 A	収入未済額の認定年度内訳			収入未済額 B	計 A+B			
							21年度以前	22年度	23年度					
雑入			126,700	55,000		71,700	64,200	0	7,500	141,730	50,000	91,730	163,430	H25.2.1 5,000円収納
		計(節)	126,700	55,000		71,700	64,200	0	7,500	141,730	50,000	91,730	163,430	
		目計	126,700	55,000		71,700	64,200	0	7,500	141,730	50,000	91,730	163,430	
		合計	126,700	55,000		71,700	64,200	0	7,500	141,730	50,000	91,730	163,430	

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

継続して督促を行っている。過年度分2件については分割納付している。

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金 該当なし

(2) 補助金

予算科目 (環境保全費)

① 国 補 分 該当なし

② 単 県 分

(平成25年1月31日現在)

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
				交付申請 年月日	完了 年月日	検 査 年月日	概算 払 精算 払 の別	支 出 年月日		金 額
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取県希少野生動物 保護管理事業 (16年度)	福栄さくら そうを守る 会		250,000	—	H24. 4. 20	—	概算 払	H24. 4. 24	250,000	
			(補助率: 10/10)	H24. 4. 9	H24. 11. 30	—				
			250,000	H24. 4. 9	—	—				
草刈・電気牧柵の設 置、監視活動等鳥取 県希少野生動物の保 護に関する条例第25 条第2項の規定によ る認定を受けた保護 管理事業に取り組む 団体を支援し、自然 生態系を保全する事 業	鳥取県西部 希少野生植 物保全調査 研究会		105,000	—	H24. 4. 6	—	概算 払	H24. 11. 16	105,000	
			(補助率: 10/10)	H24. 4. 2	—	—				
			105,000	H24. 4. 3	—	—				
単 県 分 計									355,000	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記載する場合の()書きは補助金相当額である。									

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成25年1月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単原 の別	委託料の名称	委託料の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約締結 締結年月日 契約形態)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額 変更契約(最終)	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
生活保護総務 費					()	()						
予定価格が20万 円未満のもの											0	H24.2.17 170,976 内科医嘱託
目計											0	
公衆衛生総務 費		原爆被害者健康診 断委託料	(社)鳥取県西部 医師会	24.5.22) 厚労省基準単価	24.6.1~ 25.3.31	(免除)	24.6.7 他	24.7.13 24.7.17 24.7.20 24.7.20 24.11.16 24.11.16 24.12.14 24.12.14 24.12.21 25.1.4	精		22,431 14,954 22,431 7,477 7,477 14,997 24,195 22,451 22,431 21,859	医師会以外に契約 する相手がない 。
予定価格が20万 円未満のもの					~	随	24.7.3 他					
目計											180,703	
合計											180,703	

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成 25 年 1 月 31 日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 36,624	円 260	円 1,760	円 35,124	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	36,624	260	1,760	35,124	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

(3) 債 権

(平成 25 年 1 月 31 日現在)

債権の名称	前 年 度 末		本 年 度 中				差 引 残 高		備 考
	金 額	件 数	増		減		金 額	件 数	
			金 額	件 数	金 額	件 数			
生活保護費返還金	円 74,468	1	円 0	0	円 50,000	0	円 24,468	1	
母子福祉資金貸付金	12,656,900	19	0	0	12,656,900	19	0	0	H24.4.1 西部福祉保健 局に引継ぎ
合 計	12,731,368	20	0	0	12,706,900	19	24,468	1	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ 該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

2.2 介護保険・介護サービス事業の状況

(1) 介護サービス事業者の指定等の状況

該当なし

(2) 介護保険・介護サービス提供事業者に対する指導監査の状況

該当なし

2.3 障害福祉サービス事業の状況

(1) 障害福祉サービス事業者の指定等の状況

該当なし

(2) 障害福祉サービス提供事業者に対する指導監査の状況

該当なし

2.4 心と女性に関する相談状況（心と女性の相談室対応分を含む。）

該当なし

2.5 障がい者福祉の状況

(1) 身体障がい者福祉の状況

該当なし

(2) 知的障がい者福祉の状況

該当なし

(3) 精神障がい者福祉の状況

ア 精神障がい者の状況（単位：件、人）

区分	通報届出件数	入院患者数		自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数	手帳所持者数
		措置入院	医療保護入院		
H20年度	0	1	—		
H21年度	1	1	—		
H22年度	0	1	13		
H23年度	0	1	16		
H24年度	0	1	19		

（平成25年1月31日現在）

自立支援医療受給者受給者証明手帳所持者数は、平成20年度より西部総合事務所福祉保健局が所管

イ 精神保健福祉相談事業の状況（単位：人、事業所）（平成25年1月31日現在）

区分	面接相談		電話相談		訪問指導		社会適応訓練状況		
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	委託事業所数	利用者数	
								実人員	延人員
H20年度	12	23	28	254	15	62	1	1	1
H21年度	10	16	38	146	14	15	0	0	0
H22年度	24	26	12	73	4	4	0	0	0
H23年度	5	16	10	33	2	10	0	0	0
H24年度	6	6	11	19	0	0	0		

2.6 児童福祉の状況

(1) 児童福祉施設等に対する指導監査の状況

該当なし

(2) 母子世帯の施設入所状況

該当なし

27 母子及び寡婦福祉業務の状況

(1) 母子自立支援員活動状況

該当なし

(2) 母子自立支援プログラム策定員活動状況

該当なし

(3) 母子福祉資金に関する貸付・償還等の状況

該当なし

(4) 寡婦福祉資金に関する貸付・償還等の状況

該当なし

28 生活保護業務

(1) 保護申請等の状況

該当なし

(2) 保護の状況

該当なし

29 社会福祉法人等に対する指導監査の状況

該当なし

30 健康に関する事業の実施状況

(1) 健康づくり文化創造事業

ア こころの健康づくりの推進

○ 自殺対策事業の推進

世界自殺予防デー（9月10日）及び自殺予防週間（9月10日～16日）周辺に各町の町報・防災無線等の活用、総合事務所県民情報コーナー等でのパネル展、関係機関へのチラシ配布を行なった。また、各町において町関係者と共に街頭キャンペーンを実施し、計655名にチラシを配布し、28名にうつ予防の健康教育を実施した。また、郡内の自殺対策担当者連絡会を開催し対策について協議した。

○ 日南町こころの健康づくり連絡会への支援

日南町開催の関係者連絡会や、ネットワーク会議などへ出席等運営支援を行なった。

イ 町の健康づくり事業への協賛

○ 日野町ががん検診受診率向上への取り組み

がん検診受診率向上対策について、日野町が今年度の町の重点事業と位置づけており、西部総合事務所福祉保健局と共に係わった。町と対策の協議の場を持ち、キャンペーン等の啓発活動や、乳がんの自己検診法の啓発、町内事業所への呼びかけ等を実施し、県の取組みと協働した。

(2) 女性の健康づくり支援事業

該当なし

(3) 母子保健事業

○ひのぐんぐん発達相談支援事業（日野地区連携・共同協議会事業）

（平成25年3月31日現在）

開催した事業	開催回数	参加実人員	参加延人員
ひのぐんぐん発達個別相談	7	7	19
ひのぐんぐん発達集団教室	4	9	20

(4) 思春期保健事業

該当なし

(5) 母子医療給付状況

該当なし

(6) 不妊治療費助成金交付事業

該当なし

(7) 食育推進普及事業

該当なし

(8) 歯科保健事業

該当なし

(9) がん対策推進事業

直接は業務を所管していないが、日野町のがん検診受診率向上の取組に協賛した。

(10) 医療相談対応等状況

該当なし

3 1 医療施設等の検査等の状況

(1) 医療関係施設の立入検査の状況

該当なし

(2) 薬事監視の状況

該当なし

3 2 感染症等に関する業務の状況

(1) 結核予防の状況

該当なし

(2) 感染症の発生等の状況（結核を除く）

該当なし

(3) エイズ及び性感染症の相談・検査の状況

該当なし

(4) 肝炎の相談・検査・治療費助成の状況

該当なし

(5) 感染制御地域支援ネットワーク事業実施状況

該当なし

3 3 原爆被爆者健康手帳交付者及び手当受給者の状況

(単位：人) (平成 25 年 1 月 31 日現在)

区 分	健康手帳 交付者数	手 当 受 給 者 数				
		医療特別 手 当	特別手当	健康管理 手 当	保健手当	介護手当
H20年度	19			18		
H21年度	19	1		17		
H22年度	19	1		18		
H23年度	19	1		18		
H24年度	14	1		13		

3 4 難病患者の状況

該当なし

3 5 身体障害者更生相談所に係る定期相談等の実施状況

該当なし

3 6 身体障害者更生相談所に係る相談内容及び判定の状況

該当なし

3 7 知的障害者更生相談所に係る障害程度別の相談状況

該当なし

3 8 知的障害者更生相談所に係る相談内容及び判定の状況

該当なし

39 食品衛生施設の監視の状況
該当なし

40 狂犬病予防等の状況

(1) 狂犬病予防の状況

(平成25年1月31日現在) (単位:頭)

区分	新規登録数	注射済票交付	保護	総合事務所引取		市町村引取		返還	譲渡	処分
				成犬 飼犬	幼犬 飼犬	成犬 飼犬	幼犬 飼犬			
H20年度				3		1				4
H21年度				7						7
H22年度				10	6					16
H23年度				5	3					8
H24年度				6	0					6

注1 「保護箱」の欄は、「保護」の内書きである。

注2 「飼犬」の欄は、それぞれ「成犬」、「幼犬」の内書きである。

(2) 動物愛護の状況

(平成25年1月31日現在) (単位:頭・匹)

区分	ね						こ					
	総合事務所引取		市町村引取		総合事務所引取		市町村引取		総合事務所引取		市町村引取	
	成猫 飼猫	幼猫 飼猫										
H20年度	24	4	27	20			1	1			52	2
H21年度	14	0	2	2			3	3			19	
H22年度	11	0	17	5							28	
H23年度	14	1	15	7							29	
H24年度	24	0	14	0							38	

注 「飼猫」の欄は、それぞれ「成猫」、「幼猫」の内書きである。

41 環境衛生監視等の状況

該当なし

42 鳥獣保護等の状況

該当なし

- 4 3 農薬、肥料販売・生産施設監視の状況
該当なし
- 4 4 J A S法に基づく食品表示適正化指導の状況
該当なし
- 4 5 住宅関連許認可等の処理状況の調べ
該当なし
- 4 6 県営住宅入居状況等調べ
該当なし
- 4 7 県営住宅貸付料収入内訳調
該当なし

○ 意見・要望等 なし